

富山大学学報

昭和30.1.15

第 1 号

目 次

関係法令	法律、告示…………… 解 説……………
人 事	人事異動……………
学内通知	選挙に関する公務員の規律保持…………… について 昭和30年度文部省科学研究費等…………… の公募期日 昭和30年度学生募集について…………… 昭和29年度卒業式ならびに修了式…………… 及び昭和30年度入学式について
部局情報	富山大学将来施設整備計画…………… 学生就職対策富山県本部設置…………… 本年度卒業見込学生の就職決定状況…………… 学生の表彰……………
雑 報	ヨーロッパ出張写真のアルバムの…………… 中から
共済組合 便 り	保養、宿泊施設の開設について……………

関 係 法 令

法 律

法律第 229 号 恩給法の一部を改正する法律の一部改正
29.12.27官報

告 示

文部省告示第104号 昭和 30 年度科学研究助成補助金交付申請書等の提出期限

解 説

恩給法の一部改正

法律第 229 号 恩給法の一部を改正する法律の一部を改正する法律

恩給法の一部を改正する法律（昭和28年法律第 155 号）の一部を次のように改正する

附則第 4 条第 2 項中「1 年 8 月」を「2 年 8 月」に改める
「参考」

○附則第 4 条

第 4 条 この法律施行の際現に在職する者のこの法律後 8 月を経過する日の属する月までの在職年の計算については、この法律の附則に定める場合を除く外恩給法第38条から第40条までの改正規定にかゝらず、なお従前の例によ

る。

2, 改正前の恩給法第38条の 4 に規定する勤務に係る者に対する前項の規定の適用については、同項中「8 月」とあるは「1 年 8 月」と読み替えるものとする。

上記第 2 項中恩給法第38条とは、公務員がその職務を以て[●]迎[●]す[●]う又は不健康の地域に引続き一年以上在職したるときはその期間の 1 月に付 1 月以内を加算し不健康なる業務に引続き 6 月以上服務したるときはその期間の 1 月につき半月を加算されることを定めたものであつて、同条の 4 にその不健康業務の種類を定めているものである。しかし同条は昭和28年 8 月 1 日付をもつて削除されたもので、同時に法律第 155 号をもつて経過措置をとられたものである。今回の改正は第38条の 4 に定める処の不健康業務にたづさわっている者に対して従前の規定の例による期間をなお一年間延長したものである。

人 事

人 事 異 動

昭和29.11.20

講師（富山大学文理学部）に併任する
任期は昭和29年12月10日までとする

文部教官（名古屋大学教授理学部） 菅 原 健
昭和29.12.1

文部教官（富山大学教授経済学部）に採用する
土 生 滋 穂

昭和29.12.1

富山大学教授（工学部）に昇任させる
文部教官（富山大学講師工学部） 南 日 実

〃
文部教官（富山大学助教授工学部） 村 中 利 吉

〃
文部教官（富山大学講師工学部） 井 上 浩

昭和29.12.1

富山大学助教授（教育学部）に昇任させる
文部教官（富山大学講師教育学部） 大 場 友 次

昭和29.12.1

富山大学助教授（工学部）に昇任させる
文部教官（富山大学講師工学部） 斉 藤 仁 代

昭和29.12.1

〃
〃 斉 藤 金 一

昭和29.12.1

富山大学助教授（教育学部）の併任を解除する
文部教官（富山大学助教授工学部） 村 中 利 吉

昭和29.12.1

富山大学教授（教育学部）に併任する

任期は昭和30年3月31日までとする

文部教官(富山大学教授工学部) 村 中 利 吉
昭和29.12.16

富山大学講師(文理学部)に昇任させる

文部教官(富山大学助手文理学部) 藤 木 興 三
昭和29.12.16

退職した

文部事務官(富山大学庶務課長) 丸 山 常 治
昭和29.12.16

富山大学庶務課長事務取扱を命ずる

文部事務官(富山大学事務局長) 吉 田 勇
昭和29.12.16

従七位に叙する 丸 山 常 治
昭和29.12.16

勲八等に叙し瑞宝章を授ける 丸 山 常 治
昭和29.12.18

復職した

文部事務官(富山大学補導課) 大 畑 憲 司
昭和29.12.18

人事院規則11-4第3条第2項により休職にする

” ”
昭和29.12.30

療養の期間を昭和30年3月29日まで更新する

雇(富山大学薬学部) 川 又 忠 次 郎
昭和30.1.2

臨時筆生(富山大学文理学部)に採用する

任期は昭和30年3月31日までとする
山 本 侑 子

昭和30.1.10

講師(富山大学文理学部)に採用する

任期は昭和30年3月31日までとする
増 山 乘 真

昭和30.1.20

講師(富山大学文理学部)に採用する

任期は昭和30年3月31日までとする
岡 崎 卯 一

学 内 通 知

選挙に関する公務員の規律保持について

(29.12.27文部次官通知)

このことについて別紙のとおり内閣官房長官から通知がありましたから、この趣旨を徹底されるよう、よろしくお取り扱い下さい。

選挙に関する公務員の規律保持について

公務員は、法の命ずるところに従い、全体の奉仕者として職務に専念すべき義務を負うものであるから、いやく

も、その地位を利用して選挙の事前運動其他選挙運動又はこれにまぎらわしい行為を行い国家公務員及び公職選挙に関する法規に違反するようなことがあつてはならない。

政府においては、万一このような行為をした者があつた場合には、断乎として嚴重な処分を行う所存である。

なお、地方公務員についても、同様の措置が講ぜられるように、地方公共団体に対しこの趣旨を連絡するものとする。

昭和30年度文部省科学研究費等の公募要領

研究費の種類	受付期間	必要な用紙等
科学研究費交付金	総合研究 1月31日(月)~2月5日(土)正午	「調査の用紙」は日本学術振興会で実費頒布しているから、必ずそれを使用されたい。「調査」作製の注意は用紙に印刷してある。
	機関研究 1月31日(月)~2月5日(土)正午	
	各個研究 2月11日(金)~2月18日(金)	
科学試験研究費補助金	1月31日(月)~2月5日(土)正午	「申請用紙」は日本学術振興会で実費頒布しているから必ずそれを使用されたい必要な「解説」及び「注意」は用紙に添付してある。
科学研究助成補助金	助成研究 2月11日(金)~2月18日(金)	「申請用紙」は日本学術振興会で実費頒布しているから必ずそれを使用されたい申請に必要な「申請手続、申請書様式一申請用紙として使用するもの」は日本学術振興会で実費頒布している。
	民間研究 4月18日(月)~4月23日(土)正午	
	奨励研究 4月18日(月)~4月23日(土)正午	
輸入機械購入費補助金	2月21日(月)~2月28日(月)	「申請用紙」は日本学術振興会で実費頒布しているから必ずそれを使用されたい必要な「解説」及び「注意」は用紙に添付してある。
研究成果刊行費補助金	学術定期刊行物 2月1日(火)~2月10日(木)	「申請用紙」は(甲)学術定期刊行物、(乙)学術図書の種類に分けて、日本学術振興会で実費頒布しているから必ずそれを使用されたい
	学術図書	
私立大学研究基礎設備助成補助金	4月21日(木)~4月27日(水)	申請様式等については、各私立大学宛に別途案内する。

なお本部にてとりまとめの都合もありますので、下記期日まで庶務課あて提出願います。

記

研究費の種類	庶務課提出
科学研究費交付金 各個研究	2月3日 2部
科学研究助成補助金 助成研究	2月3日 ”
輸入機械購入費補助金	2月15日 4部

昭和30年度学生募集について

次のとおり新年度入学生を募集する。

(1) 募集人員

- 文理学部 文学科 40名 理学科 60名
- 教育学部 第1中等教育科(4年制) 60名
- 専攻別 (社会8名, 理科7名, 国語7名, 英語4名, 数学6名, 音楽4名, 図画・工作4名, 保健) 体育5名, 家政7名, 職業8名
- 第2中等教育科(2年制) 30名
- 専攻別 (社会4名, 理科3名, 国語3名, 英語2名, 数学3名, 音楽2名, 図画・工作2名, 保健) 体育3名, 家政4名, 職業4名
- 第1初等教育科 60名
- 第2初等教育科 120名
- 経済学部 経済学科 160名
- 薬学部 薬学科 80名
- 工学部 電気工学科 30名 工業化学科 30名
- 金属工学科 (金属工学専攻 30名, 機械工学専攻 30名)

(2) 出願期限

昭和30年(2月17日(木曜日)から) 3月3日(木曜日)まで

(3) 入学試験の期日及び時間割

月日(曜)	時 間	検 査 科 の 別
3月23日 (水)	午前9時~同10時30分 (90分間)	国 語
	午前11時~	身体検査 レントゲン検査)
3月24日 (木)	午前9時~同10時30分 (90分間)	数 学
	午前11時~午後0時30分 (90分間)	社 会(文科系) 理 科(理科系)
	午後1時30分~同3時 (90分間)	外 国 語
3月25日 (金)	午前9時~	身体検査 (一般検診)

(4) 試験場

- 文理学部検査場 (富山市蓮町)
- 教育学部検査場 (富山市五福)
- 経済学部検査場 (富山市芝園町) 芝園中学校
- 薬学部第一検査場 (富山市奥田)
- 第二検査場 (富山市窪町) 奥田中学校
- 工学部検査場 (高岡市古定塚)

(5) 合格者発表の期日

3月31日(木)

昭和29年度卒業式並に修了式及び
昭和30年度入学式について

次の日程により挙行する。

- 3月20日(日) 卒業式ならびに修了式
- 4月8日(金) 入学式

部 局 情 報

国立学校施設整備計画調

本学の施設計画は大学発足以来逐次推進されてきましたが、これを国立大学の施設最低基準と比較しますと下表の如き状態であります。文理、教育、経済学部、一般教養の不足坪数6,894.655坪の内、経済学部校舎(附属図書館を含む)が30年末完成1,111.894坪(研究室及図書館は鉄筋コンクリート造3階及4階建、書庫は6階建)31年度末完成予定1,331.83坪(演習室及講義室、図書館、木造2階建及平屋建)計2,443.724坪は県寄附金にて上記計画に基き着々と工事進行中であります。

富山大学将来施設整備計画 (29.11.17)

所在地	学 部 名	対 象	完成時全体坪数	現在坪数	不足坪数	備 考
富山市五福	文 理 学 部 教 育 学 部 経 済 学 部 一 般 教 養	2,075名	9,544 坪	2,649.345坪	- 6,894.655坪	現有坪数には統合により将来撤去建物 1,324.066坪は含まず
富山市奥田	薬 学 部	200	2,112	2,188.189	+ 76.181	現有坪数が最低基準坪数より超過しているのは実験室関係で共用建物が不足している (-1,116坪)
高岡市古定塚	工 学 部	225	3,164	3,217.097	+ 53.097	現有坪数の最低基準坪数より超過しているのは普通教室関係で実験室関係建物は尚不足の状態である (-1,011坪)
富山市五艘	教育学部 附属中学校	9学級 380	1,165.50	420.50	- 745	
"	" 附属小学校	12学級 480	729.75	508	- 221.75	
"	" 附属幼稚園	2学級 70	111.75	0	- 111.75	
未 定	文理、教育、経済学部 一般教養 男子学生寄宿舎	300	1,500	0	- 1,500	統合計画に基き現敷地外に建設の計画なり

所在地	学 部 名	対 象	完成時全体 坪数	現在坪数	不足坪数	備 考
未 定	〃女子学生寄宿舎	150	750 坪	0 坪	750 坪	統合計画に基き現敷地外に建設の 計画なり
富山市 東岩瀬	薬 学 部 男子学生寄宿舎	60	300	0	300	
富山市 奥 田	〃女子学生寄宿舎	60	300	0	300	
高岡市 古定塚	工 学 部 男子学生寄宿舎	80	400	393	7	
富山市 五 福	本 部		300	0	300	

学生就職対策富山縣本部設置

本年度大学新期卒業者の就職開拓については、業界不振の折柄、全学の努力を結集して、強力に進めてきたが、全国的に極めて低調を示し、本学においても、別項所載のように、決して良好とはいえないので、労働、文部両事務次官の通牒に基き、厚生課では富山県側と折衝を重ね、更に学長、学生部長、事務局長等が知事、副知事、経済部長を訪ね、就職開拓について懇談の結果、次のように対策本部を設置、1月下旬から、活動を開始することになった。

學生就職対策富山縣本部設置要綱

1. 目 的

現下経済情勢下において新規学校卒業者の就職は容易ならざるものがあり、特に大学の新規卒業者の就職は困難を極めつつあるので当面の緊急措置として県に「学生就職対策富山縣本部」を設置し新規大学卒業者の就職に関する諸計画の策定、これ等学生の帰趨状況調査及び諸般の情報の収集を行うと共に経営者への雇用の勧奨、学生の啓蒙その他一般的啓発広報を推進し、もつて大学卒業者の就職促進を図るものとする。

2. 設 置

学生就職対策富山縣本部を経済部職業安定課内に置く。

3. 構 成

学生就職対策富山縣本部の委員は次の機関の代表をもつ

て構成する。

富山縣 富山大学 富山縣市長会 富山縣商工連合会
富山縣経営者協会 富山縣教育委員会

4. 業 務

学生就職対策富山縣本部の業務はおおむね次の通りとする。

1. 新規大学卒業者の就職希望状況、就職、未就職状況等の帰趨を常時把握し、その就職促進に関する方策を樹立すること。
2. 経済情勢、雇用状況等大学卒業者の就職に関し必要な調査を行い情報を収集し、之を大学、職業安定機関に周知させその職業紹介活動を円滑ならしめること。
3. 大学と連繋の下に大学卒業者に対し広い視野に立つ就職について啓蒙を行うこと。
4. 大学職業安定機関と密接な連絡のもとに経営者協会商工連合会等経営者団体を通じ雇用勧奨、啓蒙宣伝等を行うこと。
5. その他大学卒業者の就職促進に必要な事項。

5. 運 營

1. 学生就職対策富山縣本部の長は知事とし、副本部長は富山縣経済部長及び富山大学学生部長が之に当る。
2. 学生就職対策富山縣本部にその事務調整を図るため幹事をおき幹事は県、富山大学、経営者団体等からそれぞれ推薦された者の中から本部長これを委嘱する。

本年度卒業見込学生の就職決定状況

昭和30年1月10日調

学 部	学 科	卒 業 見込数	就 職 希望数	就職先 決定数	就 職 先
文 理 学 部	文 学 科	39	35	1	北銀 1
	理 学 科	6	6	0	
経 済 学 部		90	84	25	電電公社 1, 国税庁 1, 北銀 9, 協和銀行 1, 高岡信用金庫 1, 富国生命 1, 関西電力 1, 前田建設 2, 日本鋼管 1, 旭化成 1, 吉田工業 1, 大和百貨店 2, 西商事 1, 鉄道機器 1, 日星産業 1,
薬 学 部		71	60	27	藤沢薬品 4, 中外製薬 1, 日本衛材 3, 山ノ内製薬 1, 独逸農薬 1, 塩野義製薬 1, 森永乳業 1, 天昌堂 1, 大正堂 1, 日本新薬 1, 日独薬品 1, 富士薬品 1, 病院, 研究所 8, 養命製薬 1, 大槻薬品 1
工 学 部	電 気 工 学 科	31	31	8	関西電力 1, 北陸電力 4, 黒部川電力 1, 電電公社 1, 北日本放送 1
	工 業 化 学 科	24	24	4	江戸川化学 1, 磷化学 2, 日本衛材 1,
	金 属 工 学 科	17	17	8	平和アルミ 2, 山中軽金 1, 三日市製罐 1, 中田鉄工 1, 関東農事試験所 1, 北陸軽金属 1, 鉄道機器 1

学 部	学 科	卒 業 見込数	就 職 希望数	就職先 決定数	就 職 先
小 計		278	257	73	
教 育 学 部	第一中等教育科	50	50		教職員希望
	第一初等教育科	35	35		
	第二中等教育科	40	40		
	第二初等教育科	67	67		
小 計		192	192		
合 計		470	449	73	

(附記) 教育学部を除いて、各学部の卒業見込者中、教職単位履修中の学生数は次の通りである。
 文理学部 38 経済学部 55 薬学部 22 工学部 24 計 139

学生の表彰

昭和29年12月27日経済学部学生(昭和28年度入学)松岡満男君が、人命救助の善行により本学初の学長表彰を受け、記念品として岩波書店発行「経済学小辞典」を贈られた。

雑 報

ヨーロッパ出張写真のアルバムの中から

堀 令 司

約1ヶ年ヨーロッパを旅行してつくづく感じたことは、建物がすべて古い歴史をもち、その中に調和した芸術性を秘していることです。勿論日本の建物と構造やその材料を異にし、両者を比較することは出来ないけれども、私はそうした感を強くしました。同時にその建物は、周囲の環境とよくマッチして、遺憾なくその価値を発揮していることです。

例えば、アムステルダムの整然とした街の商店の軒並みが美しく、街をくもの巣のようにはりめぐらしている運河に映え、パリーの凱旋門を中心にした放射状の街路の配列といい、すべて此等が永年かかつてきつき上げた美的感覚の上に築き上げられています。



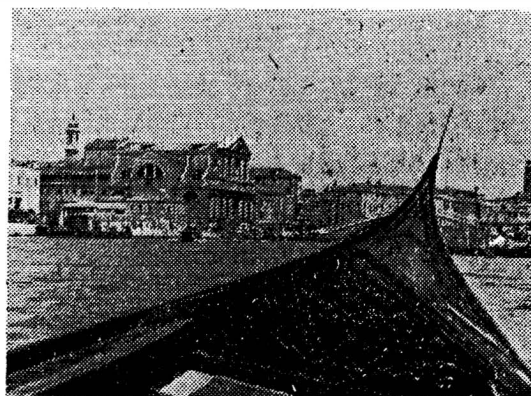
ユトレヒト天主堂の塔

その外に気のついたことは、彼等の作品の規模の大きなことです。ユトレヒトの天主堂の塔—高さ180米もあるこの塔が

今から100年前に既にきつきあげられたというおどろくべき計画性とその規模をこの塔の石段を一步一步頂上にむかつて登りながらしみじみと感じました。

しかし、イタリアのベニスへ行つてゴンドラに乗つて水

の上からベニスの街を見てまわつたとき又別の感にうたれました。それは規模の上に、



ゴンドラの上から見た
サンマルコ寺院の遠景
ベニスにて

更に、きらびやかさをつけ加えようとした努力の跡がどの建物にも名残りをとどめていました。

私はこのような驚きから西洋人の心の背景をさぐりとうとうしましたが、結論は、私の滞欧があまりにも短かつたということです。文理学部助手

(昭和29年2月より政府職員の海外渡航者として「オランダ国」において動物発生学に関し国際共同研究に参加、昭和30年1月10日帰朝)

共済組合便り

保養、宿泊施設の開設について

今度下記保養宿泊施設が開設になりましたからお知らせします。

記

- | | | |
|--------|-------|------------|
| 1. 名 称 | 高松宿泊所 | 29.5.12 開所 |
| | 大津 " | 29.8.17 " |
| | 玉造保養所 | 29.11.1 " |
| 2. 所在地 | 高松宿泊所 | 高松市八番丁30 |

大津 〃 大津市山上町544
 玉造保養所 島根県入東郡玉湯村大
 字湯町字大堀334

3. 利用料金(1泊2食) 約330円~400円
 但しその施設により若干の相違があります
 尚1食1合以上の白米を持参して下さい。

◎前庶務課長丸山常治氏逝去さる

本学前庶務課長丸山常治氏は、旧臘16日自宅において脳溢血のため逝去されました。氏は大正15年文部省教員検定委員会に入り普通学務局、学校教育局、大学学術局等において教員検定の要職を歴任、昭和27年4月富山大学庶務課長として赴任、今日まで鋭意職務に精励せられました。謹んで哀悼の意を表したいと存じます。

◎ 編 集 後 記

昭和24年本学発足当時より既に幾度か企画せられながら諸種の事情により遂にその機会を得られなかつたのですが皆様の御協力によりまして創刊の運びにいたつたことを感謝申し上げます。

この上は皆様に親しまれる必要な学報として育てあげるよう努力いたしたいと思ひます。何分創刊当初のことでもあり、編集、体裁等については極めて不十分な点多々あると思ひますが逐次充実さしてゆきたいと思ひますから今後皆様の一層の御協力と御支援を期待しております。

なお非常に急いだため各部局からの便りを掲載できなかつたのですが、次号からは是非登載したいと思ひますので奮つて下記内容により御寄稿下さるようお願いいたします

第2号からの原稿は各部局課の担当係を通じ 毎月10日までに提出下さるようお願いいたします。 (能率係)

記

法令関係	学内規程	人事異動	学内通知
事務研修	部局情報	行事予定	庶務日誌
雑 報	共済便り		

